

研究業績等に関する事項

著書, 学術論文等の名称	単著, 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所, 発表雑誌等 又は 発表学会等の名称	概 要
(著書(欧文)) 1.				
(著書(和文)) 1. 『はじめての韓国語 基礎から会話へ』	単著	2017年3月	三恵社	1~106頁
2. 『はじめての韓国語 基礎から会話へ 改 訂版』	単著	2018年3月	三恵社	1~106頁
3. 『原典 朝鮮近代思 想史』第二巻	共著	2022年3月	岩波書店	146~163頁、168~171頁、188~207 頁
(学術論文(欧文)) 1.				
(学術論文(和文)) 1. 「朝貢関係」と「条 約関係」からみる近 代朝鮮の外交政策	単著	2001年3月	東京大学大学院 人 文社会系研究科 修 士論文	1~240頁
2. 近代朝鮮の外交政策 の一側面 —「朝貢 関係」と「条約関 係」—	単著	2002年7月	『朝鮮学報』第184 輯	77~116 頁
3. 回顧と展望 (朝鮮 近・現代史)	単著	2003年5月	『史学雑誌』2003年 5月号	264~268 頁
4. 近代移行期における 朝鮮の外交と政治	単著	2008年1月	東京大学大学院人文 社会系研究科博士論 文予備論文	1~112頁
5. 「一八八〇年代初頭 における朝鮮の対清 交渉—「中国朝鮮商 民水陸貿易章程」の 締結を中心に—	単著	2013年1月	『朝鮮学報』第226 輯 ※『中国関係論 説資料』第55号に採 録	1~43頁
6. 外国語学習と異文化 研究—動機づけの 問題を中心に	単著	2013年9月	日本女子大学文学 部・文学研究科『異 文化を学ぶことと語 学習得報告集』	31~41頁
7. 清の游智開と朝鮮の 朝貢使節—領選使 の派遣を中心に	単著	2016年3月	『韓国朝鮮文化研 究』第15号	39~58頁
8. 清の知識人と燕行使 の交流から見る人的 ネットワークの構築 —董文煥の日記お よび詩文を手掛かり に	単著	2018年3月	『韓国朝鮮文化研 究』第17号	1~22頁
9. 1881年、魚允中の清 国行きについて	単著	2021年3月	『韓国朝鮮文化研 究』第20号	1~24頁

(紀要論文)					
1. 近代移行期における朝鮮の政府機構新設——統理機務衙門を中心に	単著	2014年10月	『人間科学』常磐大学人間科学部紀要第32巻第1号	47～58頁	
2. 「近代」移行期の東アジア知識人の人的ネットワークについての基礎研究（一）——興亜会・亜細亜協会を中心に	共著	2018年9月	『人間科学』常磐大学人間科学部紀要第36巻第1号	1～10頁	
3. 「近代」移行期の東アジア知識人の人的ネットワークについての基礎研究（二）——興亜会・亜細亜協会と中国人との詩文による交流を中心に	共著	2019年3月	『人間科学』常磐大学人間科学部紀要第36巻第2号	15～38頁	
4. 「近代」移行期の東アジア知識人の人的ネットワークについての基礎研究（三）——第二次修信使金弘集一行の日本滞在を中心に	共著	2019年9月	『人間科学』常磐大学人間科学部紀要第37巻第1号	31～44頁	
5. 「近代」移行期の東アジア知識人の人的ネットワークについての基礎研究（四）——「韓人筆話」をめぐって	共著	2020年9月	『人間科学』常磐大学人間科学部紀要第38巻第1号	17～29頁	
6. 李鴻章の朝鮮に対する「開国」勧告（一）——李裕元への書簡を中心に	単著	2023年3月	『人間科学』常磐大学人間科学部紀要第40巻第2号	80～88頁	
(辞書・翻訳書等)					
1. 〈中国語→日本語〉林満紅著「日本統治時代台湾経済史の研究：視覚と視野」	単著	2004年12月	鹿児島国際大学附置地域総合研究所編『地域総合研究』第32巻第1号	121-150頁	
2. 〈中国語→日本語〉林満紅著「台湾学者の近代華商歴史論：学術環境と解釈の趨勢」	単著	2005年3月	中村哲編著『東アジア資本主義形成史Ⅰ 東アジア近代経済の形成と発展、第1章』、日本評論社	23～54頁	
3. 〈中国語→日本語〉任曉著「中国第四世代指導者の執政理念」	単著	2005年3月	鹿児島国際大学附置地域総合研究所編『地域総合研究』第32巻第2号	15～24頁	
4. 〈中国語→日本語〉王玉茹著「中国近代の家族規模に関する分析」	単著	2006年2月	中村哲編著『東アジア資本主義形成史Ⅱ 1930年代の東アジア経済、第3章』、日本評論社	85～104頁	

5. 〈韓国語→日本語〉 裴宗鎬『朝鮮儒学史』	单著	2007年1月	川原秀城監訳『朝鮮儒学史』、知泉書店	*執筆分：第7章「唯気論と唯理論および理気折衷論」265～320頁。
6. 〈中国語→日本語〉 馮偉著「日中両国『戦時金融体制』に対する歴史的考察および比較分析」	单著	2007年2月	鹿児島国際大学附置地域総合研究所編『地域総合研究』第34巻第2号	89～101頁
7. 〈韓国語→日本語〉 金炫榮著「朝鮮時代地方官衙門の記録生産と保存」	单著	2007年3月	『歴史的アーカイブズの多国間比較に関する研究』平成16年度研究成果年次報告書、平成16～19年度科学研究費補助金基盤研究(A)(2) 【課題番号16202013】研究代表者：渡辺浩一	84～92頁
8. 〈日本語→中国語〉 『東亜的王権と政治思想』	单著	2009年7月	小島毅ほか編『東亜的王権と政治思想』(復旦大学出版社)	*執筆分：山内弘一著「19世紀前半朝鮮王朝的小中華意識及王権論」148～160頁
(報告書・会報等)				
1. 一八七九年以降の朝鮮をめぐる東アジア国際関係——朝米条約を中心に	单著	1999年12月	『朝鮮史研究会会報』139号	21～24頁
2. 〈書評〉權赫秀著『19世紀末韓中関係史研究——李鴻章の朝鮮認識と政策を中心に』	单著	2002年3月	『朝鮮史研究会会報』147号	33～36頁
3. 政府機構の改編から見た「近代」像——統理機務衙門を中心に	单著	2002年7月	『朝鮮史研究会会報』149号	15～18頁
4. 中国朝鮮水陸貿易章程と朝鮮側の思惑	单著	2003年3月	『朝鮮史研究会会報』155号	31～33頁
5. 〈本の紹介〉月脚達彦著『朝鮮開化思想とナショナリズム——近代朝鮮の形成』	单著	2010年10月	『韓国朝鮮の文化と社会』第9号、風響社	207～209頁
6. 〈書評〉酒井裕美著『開港期朝鮮の戦略的外交 1882-1884』大阪大学出版会、2016年	单著	2018年3月	『朝鮮史研究会会報』209号	6～10頁
(国際学会発表)				
1. 国際シンポジウム「異文化を学ぶことと語学習得」	单著	2013年7月	日本女子大学文学部・文学研究科主催	
(国内学会発表)				
1. 報告 一八七九年以降の朝鮮をめぐる東アジア国際関係——朝米条約を中心に	単独	1999年9月	朝鮮史研究会例会	
2. 報告 近代朝鮮における二重外交体制の成立——「朝貢関係」と「条約関係」	単独	2001年10月	朝鮮学会第52回大会	

3. 書評 權赫秀著『19世紀末韓中關係史研究——李鴻章の朝鮮認識と政策を中心に』	単独	2001年12月	朝鮮史研究会例会	
4. 報告 政府機構の改編から見た「近代」像——統理機務衙門を中心に	単独	2002年3月	朝鮮史研究会例会	
5. 報告 中国朝鮮水陸貿易章程と朝鮮側の思惑	単独	2003年12月	朝鮮史研究会例会	
6. 報告 領選使派遣から見る1880年代初頭における朝鮮と清との交渉	単独	2012年10月	韓国・朝鮮文化研究会第13回大会	
7. 報告 書評「酒井裕美著『開港期朝鮮の戦略的外交 1882-1884』、2016年)」	単独	2017年1月	朝鮮史研究会例会	
8. 報告 清の知識人と燕行使の交流から見る人的ネットワークの構築	単独	2017年10月	朝鮮学会第68回大会	
9. 報告 「紳士遊覧団」メンバーの清国公使館を通して形成される人脈—魚允中の清国行きを例に—	単独	2019年3月	朝鮮史研究会例会	
10. 報告 『大河内文書』にある第二次修信使との筆談（『韓人筆話』）について	単独	2019年10月	韓国朝鮮文化研究会第20回研究大会（於東北学院大学）	
11. 報告 清国公使館を中心に形成される「近代」東アジア知識人のネットワーク	単独	2020年3月	シンポジウム「西洋」の出現と東アジア知識人の人的ネットワーク」（於日本女子大学）	
(演奏会・展覧会等) 1.				
(招待講演・基調講演) 1. ハングル、陰陽五行、そして漢方	個人	2015年3月	聖路加国際大学「多言語・多文化対応力育成プロジェクト」：『多言語を学ぶ×多言語から学ぶ＝自分パワーアップ計画2015』	
(受賞(学術賞等)) 1.				

研 究 活 動 項 目						
助成を受けた研究等の名称	代表, 分担等の別	種 類	採択年度	交付・受入元	交付・受入額	概 要
(科学研究費採択) 1. 「近代」移行期の東アジアにおける知識人の人的ネットワーク形成に関する調査と研究 2. 環太平洋地域のトランスナショナル・ネットワークとアジア系移民排斥 3. 東アジア・知識人・ネットワーク	代表 分担 代表	基盤(C) 17K03142 基盤(C) 22K00836 研究成果公開促進費(学術図書)	2017～2019年度 2022～2027年度 2023年度	常磐大学 千葉大学 常磐大学	4,290千円 3,770千円 1,500千円	
(競争的研究助成費獲得(科研費除く)) 1.						
(共同研究・受託研究受入れ) 1.						
(奨学・指定寄付金受入れ) 1. 韓国国際交流財団フェローシップ 韓国国際交流財団フェローシップ 韓国国際交流財団フェローシップ	単独 単独 単独		2001年度 2002年度 2003年度	東京大学 東京大学 東京大学	10000 ^F _円 10000 ^F _円 10000 ^F _円	
(学内課題研究(共同研究)) 1.		—		—		
(学内課題研究(各個研究)) 1.	—	—		—		
(知的財産(特許・実用新案等)) 1.	—			—	—	